

## 3月定例会のあらまし

平成28年第1回定例会は2月26日から3月24日まで28日間の会期で開催し、諮問4件、議案64件、発議案4件が提案され、いずれも原案通り可決しました。また、施政方針並びに教育行政方針演述に対する質問のほか、一般質問には議員18名が登壇し、市長及び教育委員長等の考えを質しました。

議員発議として提出された「地域自治区の設置期間を変更する条例の制定について」は賛成多数で可決、その後提出された「地域自治区調査特別委員会の設置」を全会一致で可決し、特別委員会を設置しました。



奥州市役所本庁舎

# 地域自治区を2年延長

発議案第26号

地域自治区の設置期間を変更する条例の制定

賛成多数で

可決

賛成 21  
反対 5

〈提案理由〉

地域自治区の設置等に関する協議書第3条に規定する地域自治区の設置期間を平成30年3月31日まで延長しようとするものです。

なお、当該期日をもって、同協議書に基づく地域自治区の設置期間は終了するものとします。

提案者に対する質疑

**質問** 提案理由に「当該期日をもって協議書に基づく地域自治区の設置は終了する」とあるが、これは合併特例法による地域自治区の終了で、今後のあり方については2年延長の間に協議検討するということか。

**答弁** 廃止や存続の意味ではなく、あくまでも期間を2年延長するという発議案である。以後については、延長期間内での協議によって進めていくものと考えている。

**質問** 議会としてこのような発議をする以上、特別委員会を設置する等、積極的に検討を進めるべきだと思いが念頭にあるか。

**答弁** 公的な組織を立ち上げ、その中で結論を出すべきと考える。前に進める努力をするという考えで期間の延長を求めたものである。

反対討論

**反対** 市の財政状況等を考えたときに、延長は将来のプラスにはならない。先送りせず改革を進めるべきである。

**反対** 行革や財政健全化への対応が急がれる。新たなまちづくりに取り組むことが議会の使命だ。

**反対** 行革を急がなければならず、2年後にどうなるかはつきりしない中では到底賛成できない。

賛成討論

**賛成** 昨年6月に採択した要望書の主旨にも沿ったもの。一定の期間を保ち、公の場によって議論を重ねるべきである。

**賛成** 将来のまちづくりのあり方を決めるとき市民の声や意見を聞く時間をもつことが大切で、それが住民自治、地域自治の本旨だ。

**賛成** 地域自治区の存続を求める要望も出されている。特別委員会等を設置して丁寧な議論をして結論を出すべき。

## 地域自治区調査特別委員会を設置

(平成28年3月24日設置)

地域自治区の設置期間延長に伴い、地域自治区の存廃について、地域自治区制度及び市民の意向を慎重に調査するため、議長を除く議員全員をもって構成する地域自治区調査特別委員会を設置しました。

なお、本特別委員会の調査方針の決定等、迅速性、機動性を図る目的で、幹事会を併せて設置しました。

地域自治区調査特別委員会幹事会			
	氏名	会派名	
委員長	渡辺 忠	奥和会	
副委員長	佐藤 郁夫	市民クラブ	
幹事	廣野 富夫	市民クラブ	
幹事	菅原 圭一	新世明党	
幹事	飯坂 一政	公民クラブ	
幹事	高橋 葉文	奥和会	
幹事	西野 秀裕	奥和会	
幹事	今及 裕善	日本共産党	